

ぶらりわが街宮沢界隈

(39) 新鮮で安心・安全な農産物の生産・販売



「みどりっ子」農産物直売所

昭島市の農業は、都市化の進行や農家の後継者不足、高齢化などで農地面積が減少し、農業の問題点となっています。厳しくなる生産環境ですが、その中でも農業者は野菜、果樹、花、植木など多様な農産物を農地の肥培(ひばい)管理を行い「新鮮で安心・安全」をモットーに、生産者の顔が見える庭先販売や共同直売所など地場流通を通じて、新鮮な農畜産物を地域の消費者に販売しています。宮沢界隈を紹介いたします。



「西野園」野菜直売所

- ・「みどりっ子」JA東京みどり(農業協同組合)昭島支店の東側(玉川町5-16-17)-JA東京みどり農産物直売所3号店として平成22年(2010年6月)開設。昭島産で生産者の顔が見える安心・安全な新鮮野菜、果物、花卉(き)、花壇苗、米、卵、それらを使った加工食品などを販売しています。

*月~金曜日(祝日を除く)の午前9時~午後3時

- ・農産物即売会①第1・第3土曜日の午後2時~東中神駅前交番隣。②第2・第4土曜日の午後2時~昭島駅南口商店会館前。③毎週日曜日の午前8時45分頃~田中団地第2集会所前広場。④毎週水曜日の午後3時45分頃~田中団地第2集会所前広場。*いずれもなくなり次第終了。界隈に「西野園」(中神町1-32)など採りだて新鮮野菜の庭先販売があります。



昭島の梨「幸水・新高」

- ・「工房旬(しゅん)」(宮沢町2-32鈴木宅)-農協宮沢支部の女性グループが市内産の季節の野菜、果物を使った加工品(赤飯、五目おこわ、まんじゅう、漬物等)を「みどりっ子」や「みのーれ立川」(立川市砂川町2-1-5)などで消費者に販売、4月下旬、環境緑花フェスティバル(市役所)・11月上旬、産業まつり(市民会館)などでもテント販売しています。



小室園芸(大神町)

- ・柳澤園芸(大神町2-9-15)・小室園芸(大神町3-2-4)-花壇苗・鉢花(パンジー・ビオラ苗・11月頃から温室内でのシクラメンなど)生産販売-などお気に入りが見えます。
- ・市内農産物産出額個別農産物1位は、日本なし=多摩川梨です。界隈にも幾つかの梨園があります。特に近接する居住者に迷惑を配慮し、有袋低農薬栽培、防薬シャッターを実施、病害虫防除基準に基づき農薬散布を飛散防止やエンジン音の低下に努めています。



昭島エコファーマーズ

- ・昭島エコファーマーズ「宮崎梨園」(中神町1-28)

「五鉄通り」経塚下交差点東側一早生「幸水」・中生「豊水、新生」・晩生「新高」を栽培し収穫時には、庭先販売しています。

*市内農業産出額個別農産物パスト5-1位日本なし(23%)、2位トマト(10%)、3位こまつな(7%)、4位パンジー・ビオラ苗(4%)、5位なす(4%)
出所:25年3月発行「東京都の地域・区市町村別農業別データブック」より

- ・体験農場

農業者以外の方が有料で耕地を借り、野菜や草花の栽培をとおして、自然に触れるとともに農業への理解を深めてもらうように開設しています。



「東ヶ丘シルバー農園」

「マイファーム昭島」(中神町2-24)市産業活性化室が特定農地貸付法により開設。耕地一区画六畳程2年契約で応募は人気があり抽選決定です。「東ヶ丘シルバー農園」(大神町1-16)、「伊藤農園」(宮沢町2-28)などです。農作業が指導でさる農業者が配置されている農場もあるようです。土に触れることの楽しさ、自分で収穫した野菜の味は格別です。

(文・写真)防犯宮沢支部 西山 禎一